

暑熱期における脂肪酸カルシウムの給与による黒毛和種子牛の発育の改善について

令和6年5月

栃木県芳賀農業振興事務所

1 概要

- 暑熱期における子牛の発育停滞の対策として、令和5年6月1日～9月30日の期間中、黒毛和種子牛5頭（開始時：約2ヶ月齢）に1日1頭あたり脂肪酸カルシウム50gを飼料の上にトップドレスで給与しました。
- 脂肪酸カルシウムの給与により、給与していない場合（令和4年6月1日～9月30日）と比較して、子牛の発育が改善する結果が見られました。

2 具体的データ

令和4（2022）年度及び令和5（2023）年度の
6月～9月の気象データ（気象庁HPより）

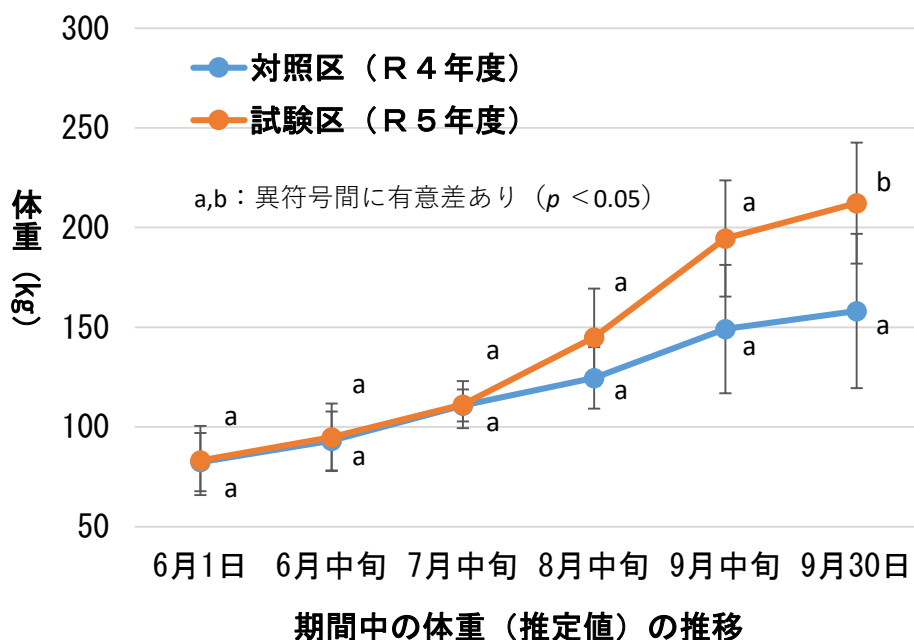
宇都宮	気温（℃）		湿度（％）		THI※	
	日平均		日平均		日平均	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
6月	22.2	22.4	77	79	70	71
7月	26.6	27.5	81	76	77	78
8月	26.6	28.5	81	80	77	80
9月	23.6	25.7	81	82	73	76



給与したアマニ油使用
脂肪酸カルシウム

※THI（温湿度指数）は、牛が受ける暑熱ストレスを表す指標であり、次式により算出しました。

$$THI = (0.8 \times \text{気温}) + [(\text{湿度}/100) \times (\text{気温} - 14.4)] + 46.4$$



メーカーによると、繁殖成績や肥育成績の改善に寄与するデータもあるようです。

詳しくは担当者まで
お問い合わせください。
TEL : 0285-82-3074